



イメージの 脈動にふれる

2022年3月25日(金)

18:30~21:00 (17:30開場)

場 所：オーバルホール

大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞大阪本社ビルB1

参加費：無料

定 員：180名(要事前申込み/先着順)

手話通訳あり

基調講演

「眼とイメージ」

中沢 新一 (思想家・人類学者)

報告1

「蠟と金 -エチオピアの楽師が奏でる生と死のイメージ世界-」

川瀬 慈 (国立民族学博物館・准教授)

報告2

「色と光がつくりだす敦煌莫高窟のイメージ世界」

末森 薫 (国立民族学博物館・助教)

パネルディスカッション

中沢 新一 × 川瀬 慈 × 末森 薫

総合司会：平野 智佳子 (国立民族学博物館・助教)

※本講演会は会場のほか、WEBライブ中継(要事前申込み)でもご参加いただけます。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、講演を変更、中止する場合がございます。ご了承ください。

「神話は人間のなかにおいて、人間自身が知らぬまに考え出される」。文化人類学の巨人、レヴィ=ストロースはそう語りました。

神話に限らず、わたしたち人間に内在するイメージ<心象、心像、死後の世界、夢、自然界がもたらす神秘、超越的な存在など>は、人のはからいや制御を超えて生まれ、変化し、融通無碍に世界を形づくります。それはさらに、人の所作を通して活性化され、時に廃れ、人と人のつながりを介して時空を超えて脈打ち、様々な媒体を通して顕現し増殖していきます。

本講演会では、チベットの視覚理論と、エチオピアの音楽、中国・敦煌の石窟壁画の事例を手がかりに、さまざまなイメージが生成・増殖していく様相をひも解き、人間の制御を超えた<イメージの主体性>を前提とした知や学問のありかたを考えます。



基調講演 「眼とイメージ」

中沢 新一 (なかざわ しんいち) 思想家・人類学者

1950年、山梨県生まれ。京都大学こころの未来研究センター特任教授、千葉工業大学日本文化再生研究センター所長。東京大学大学院人文科学研究科博士課程満期退学。インド・ネパールでチベット仏教を学び、帰国後、人類の思考全域を視野にいれた研究分野(精神の考古学)を構想・開拓する。著書に『チベットのモーツァルト』『森のパロック』『アースダイバー』『カイエ・ソバージュ』シリーズ、『熊橋の星の時間』ほか多数。近著に『レンマ学』、『アースダイバー 神社編』がある。



報告1 「蠟と金—エチオピアの楽師が奏でる生と死のイメージ世界—」

川瀬 慈 (かわせ いつし) 国立民族学博物館・准教授

専門は映像人類学、アフリカ地域研究。人類学、シネマ、アート、文学の実践の交差点から映像、音、詩を用いた話法を探究。著書に『ストリートの精霊たち』(2018年、世界思想社、第6回鉄犬ヘテロトピア文学賞)、『エチオピア高原の吟遊詩人うたに生きる者たち』(2020年、音楽之友社、第43回サントリー学芸賞)等。



報告2 「色と光がつくりだす敦煌莫高窟のイメージ世界」

末森 薫 (すえもり かおる) 国立民族学博物館・助教

博物館における資料保存・管理の実証的研究に携わる。また、中国甘肃省にある仏教石窟、エジプトやバーレーンの考古遺跡等をフィールドとして、美術史・考古学、文化財科学の視点より研究を進めている。著書に『敦煌莫高窟と千仏図—規則性がつくる宗教空間』(2020年、法蔵館)がある。



総司会

平野 智佳子 (ひらの ちかこ) 国立民族学博物館・助教

文化人類学を専門として、オーストラリアの中央砂漠を中心としたフィールドワークに基づく研究に取り組む。主な研究内容は、アボリジニの飲酒。主要論文として「分配行為にみるアナンクのやり方：オーストラリア中央砂漠アボリジニのキャンパス販売と酒の購入資金の獲得の分析から」(2021年、『文化人類学』86巻2号)。



プログラム

17:30	開場
18:30-18:35	開会 鯨岡 秀紀 (毎日新聞大阪本社・編集局長)
18:35-18:40	挨拶 吉田 憲司 (国立民族学博物館・館長)
18:40-19:30	基調講演「眼とイメージ」中沢 新一 (思想家・人類学者)
19:30-19:45	報告1 「蠟と金—エチオピアの楽師が奏でる生と死のイメージ世界—」川瀬 慈 (国立民族学博物館・准教授)
19:45-20:00	報告2 「色と光がつくりだす敦煌莫高窟のイメージ世界」末森 薫 (国立民族学博物館・助教)
20:00-20:15	休憩
20:15-21:00	パネルディスカッション 中沢 新一 × 川瀬 慈 × 末森 薫
21:00	終了

総司会：平野 智佳子 (国立民族学博物館・助教)



© 井上隆雄

申込方法

国立民族学博物館 🔍

クリック

国立民族学博物館のホームページ内にある申込フォーム画面に従って必要事項をご入力ください。

<https://www.minpaku.ac.jp/>
2022年2月14日(月)受付開始予定

お問い合わせ先

国立民族学博物館 研究協力課 TEL 06-6878-8209



講演会場

JR大阪駅(桜橋口)から地下道にて徒歩約8分/阪神梅田駅・地下鉄西梅田駅から徒歩約8分
※車でのご来場はご遠慮ください。

毎日新聞
オーバルホール
毎日新聞大阪
本社ビルB1

